



あなたの声を市政に 地区懇談会

問い合わせ 市民課 ☎2142

自治会連合会は、福祉の増進と住みよい地域づくりを実現するため、まちづくりについて、市長と直接話し合う「地区懇談会」を開催しています。

昨年度は9地区で開催されました。
今月号では油見地区、白石地区、阿多田地区の内容（一部抜粋）を紹介します。

油見地区（平成22年12月3日） 油見会館

補助制度の復活

問 地区集会所の老朽化が進み、毎年、補修費がかかっている状況です。
自治会だけで費用を負担することが難しいので、以前あった補修費などの補助制度を復活してほしいです。

答 集会所は地域の皆さんにとって、コミュニティ活動の拠点となる重要な施設であり、それぞれの地域で工夫をしながら運営していただいているところです。
油見地区を含め、いくつかの地区集会所は、昭和50年代から平成の初めにかけて建築されたものが多いため、老朽化したり、バリアフリー化してなかったりする施設があることは承知しています。また、集会所の補修などについて、補助制度復活の要望も伺っています。

少子高齢化が進み、支える方と支えられる方の割合が大きく変化する中、行政がこれまでどおりの役割を果たし続けていけるのかどうか、改めて考え直してみるときではないか

と思っております。
ご要望の件については、さまざまな角度から慎重に検討していく必要があると思っております。
12月3日以降の動き
他市の制度や過去の制度を研究するとともに公平性の視点で補助の対象や割合、限度額などを慎重に検討し、平成23年度中に方向性を決定する予定です。



油見会館

市職員の窓口の対応

問 職員の窓口対応について、苦情を聞きます。内容が専門的で、言葉も難解なため、丁寧に説明していただいても、理解しにくいのではないのでしょうか。
窓口の対応について、どのように研修しているのでしょうか。

答 窓口対応の質の向上を目指し、接客研修を実施しているところです。
ご指摘のとおり、近年はさまざまな制度が複雑になり、専門的で難解な語句が増えているため、担当職員も市民の皆さんにわかりやすく説明

大竹小学校の運動場の開放

問 休日子どもたちは、サッカーや野球をする場所がないため道路で遊び、事故を起こすこともあり、また、遊ぶ場所がないので、家中でゲームをして、屋外に出なくなり、学校の運動場を子どもたちに開放すべきだと思います。

答 学校教育に支障がない範囲で、放課後や休日に学校を開放しています。現在、土曜日の午前中は、ほとんど少年サッカーが学校開放事業で利用していますが、午後はひかり児童クラブ（放課後児童クラブ）があり、そこで子どもたちが学校の運動場で遊んでいます。

「集会所の補修費などの補助制度を復活してほしいです」

「学校の運動場を子どもたちに開放すべきだと思います」

日曜日を開放するためには、学校開放事業として申請している団体の利用（野球やサッカーの試合、など）との調整も必要となります。
例えば、毎月第一日曜日は白石地区が学校開放の利用申請をし、毎月第三日曜日は他の地区が利用申請するといったように、学校に隣接する自治会の皆さんと一定のルール作りができ、学校の鍵の開け閉めをしていただけるようであれば、学校開放

大瀧神社裏から大竹駅への道路

問 大瀧神社の裏を通り、大竹駅に抜ける道路の計画は、現在どのようになっているのか、見通しを示してください。

答 ご質問の未整備となっている都市計画道路「油見中線」は、市営住宅白石6号アパート付近から、大竹高校の山手側を通り、油見1丁目の大竹中央幼稚園付近に下り、平成16年に整備した「中市立戸線」に接続する約720mと、さらにそこから大竹駅方面に約150mの区間が未整備となっている「駅前油見線」です。市の都市計画道路網の形成上、必要な路線と認識していますので、順次整備していく方針です。

ただ、現在、他の都市計画道路の整備事業に着手していますので、その都市計画道路の整備の見通しがつきしだい、未整備路線を計画的に整備していきたいと考えています。
なお、ご質問の路線の区間のうち、「駅前油見線」は早期に整備する必要があると認識しています。

することに大変苦心しています。
今後も、専門用語をわかりやすく表現するなど説明方法を工夫して、より丁寧な対応に努めるよう職員に徹底したいと思っておりますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

白石地区（平成23年2月2日） 白石1丁目第1集会所 大河原山レクリエーション広場など

問 大河原山レクリエーション広場などの設置が中断され、放置されていますが、その後の見通しはどうなっているのでしょうか。
大竹市には市民が憩える場所が少ないので、早く完成形での完了をお願いします。

答 大河原公園は、用地買収交渉が難航し、当初計画の公園整備は困難となりました。
しかし、計画地の眺望条件や豊かな緑など、大河原山の特質を活かし、市民の皆さんが気軽に訪れ、憩える場所として、平成23年度から財政状況を考慮しながら、できる範囲で整備していきたいと考えています。

白石2丁目中道の道路拡張工事

問 約10年前の白石地区市政懇談会で提案された工事が、ようやく開始されて喜んでいますが、この水路に落ちて怪我をした子どもたちは、かなりの人数になります。元市長が危険防止のため、水路に蓋をすると約束されたから、予算の関係などで延びていましたので、早期に完成してください。

答 工事中に大雨が降り、水路に水がいつぱいになって流れている時に幼児などが落下して流されたら、すぐに開けられるふたではありませんので、どうやって助けるか、多くのお母さん方が心配しています。工事完了までの危険防止対策をお願いします。

当該事業は平成21年度から事業を実施しており、現在工事施工中です。期間中の安全対策は、施工業者に万全を期すよう指示しています。
ご心配の開口部は、スクリーンなどを設置することで、人や物が下流に流されない措置を講じます。
また、工事期間中に限らず、大雨時には水路など、危険と思われる場所には近づかないよう、日頃から注意をお願いします。



市民 + 行政

阿多田地区 (平成23年2月6日
阿多田島漁業協同組合)

緊急災害時の防災対策

問 災害時における阿多田地区のライフラインの確保・復旧について、市はどのように考えているのでしょうか。

答 食糧や毛布など、一定量は漁協に備蓄品として保管しています。離島のため、全てを迅速に対処することは困難と思いますが、食品、住居、生活用品などについて、1〜2日間は孤立しても生活が維持できるように、最大限の対応を検討したいと思っています。



交通費の助成

問 診療のための交通費(船賃)を半額助成することはできないでしょうか。

する人づくりです。

「大竹が好きだから」大竹の良いところをみんなにも知ってほしい。「大竹が好きだから」もっと素敵なおまじにしたい。「大竹が好きだから」もっと住みやすいまちになるよう考える。「大竹が好きだから」大竹のまちづくりにわたしも参加する・・・。

「よいまち」を作っていくのは、人の思いの強さと実行力です。つまり、「大竹を愛する人づくり」こそが、まちづくりのエンジンとなり、まちづくりの推進力となります。

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という気概を持った市民が多ければ多いほど、大竹の持つ豊かな財産「自然、人、社会の仕組み、文化や歴史、先人から受け継いだ精神など」を活かした、大竹ならではのまちづくりが展開できます。

大竹に生まれてから成長していく過程においても、根底に一人一人が大竹を愛する気持ちが育めるような「大竹を知る施策」を展開していきます。

また、地域のつながりを大切にし、人の温かさやエネルギーを感じるまぢを目指します。



第五次大竹市総合計画 わがまちプラン6つの柱 ～その1「推進力」～



問い合わせ
企画財政課 ☎2125

「わがまちプラン」は、わたしたちのまち大竹のまちづくり計画です。まちづくりのテーマは「住みたい、住んでよかったと感じるまち」将来像は「笑顔・元氣 かがやく大竹」です。

10年後、今よりもっと「よいまち」を目指して、みんなで考え、みんなで動くまちづくりを展開します。「わがまちプラン」には、柱となる「6つの基本目標」があります。

今月はまちづくりの推進力と定めた基本目標「大竹を愛する人づくり」を説明します。

大竹を愛する人づくり

まちづくりはひとづくりという観点に立った基本目標が「大竹を愛

答

市民の皆さんにとって、何に対する優先順位が高いのかを見極めて判断したいと思っています。

それには、「対象が幅広なもの(公平感)もあれば「対象は特定されても、皆さんの納得が得られるもの」もあります。

交通費の助成は難しいかもしれませんが、移動の自由度を高めるための努力は継続していきたいと考えています。



小学校の廃校

問 廃校問題について、PTAとの協議が進められていますが、阿多田島の場合、学校は地域全体の問題です。PTAとの協議を進めるのは構いませんが、内容や進捗状況は地域へも情報を開示してほしいです。

友好都市紹介

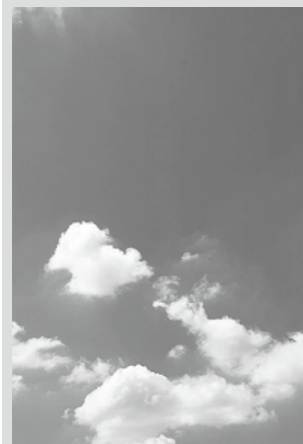
都江堰市 Vol.1

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

本市と友好都市提携している都江堰市についてシリーズでご紹介いたします。今回は都江堰市の概要についてです。

名称 中国四川省都江堰市
位置 四川省の省都、成都市の北西55km
人口 約61万人
面積 1,208km(本市の約15倍)
気候 海拔が平野部の最も低い所でも592mありますが、亜熱帯湿潤性気候に属するため、年間平均気温は約15度と温暖な気候です。(本市の年間平均気温は約16度)

見どころ 道教の聖地「青城山」や世界自然遺産「九寨沟」など他にも多彩な観光スポットがあり、年間1,000万人を超える観光客が訪れます。



答

阿多田島に限らず、「学校」は地域の象徴だと認識しています。その中で、まずは保護者(PTA)と話を進めさせていただいています。今後、地域への情報開示を進めていきたいと思っています。



(右)阿多田島漁業協同組合での懇談会の様子

